

「本のある暮らし」を子どもたちに

3月になりました。平成27年度がまもなく終わります。

大山町の子どもたち、「本のある暮らし」ができたでしょうか。

写真は、図書館で本を楽しむ子どもたちやある家庭のおもちゃ箱の様子です。手が届くところに本がある、そんな生活ができれば素敵です。

“ひとりでに本を愛することを覚える子どもなどというのは、まずいない。誰かが、文字で書かれた言葉のすばらしい世界へ、彼らを誘い込んでやらなくてはならない。誰かが、その世界へ行く道を教えてやらなくてはならない”という文を読んだことがあります。

大人は、子どもと同じ世界を共有しながら人間関係を育てる手だてとして、いつでも本を手にとることができる環境を作っていきたいものです。



好きな本を見つけたよ



友だちと一緒に読むよ



おもちゃ箱にはもちろん本もある

司書おすすめの本

『センス・オブ・ワンダー』

レイチェル・カーソン著 上遠 恵子訳
 新潮社出版



すべての子どもが生まれながらに持っている神秘さや不思議さに目を見はる感性、それがセンス・オブ・ワンダー。

著者は、子どもたちが目・耳・鼻・指先を使って感じること、さまざまな発見を大人と一緒に共感することが大切だと言っています。子どものときにいろいろなことを感じるにより五感の基礎を作り、心の土壌を耕した子どもたちは、大人になって苦しみや困難に出会っても、乗り越えられると信じています。また、写真も美しく癒されます。

みなさんもセンス・オブ・ワンダーを感じてみませんか!! (ど)

図書館行事

3月5日(土)

9:30~11:30 名和分館

「ゆびあみで、マフラーを作ろう」

小学生対象 定員10名

図書 のご案内

一般・文学

- ★獅子吼/浅田次郎
- ★いつかの人質/芦沢央
- ★天下人の茶/伊東潤
- ★逆島断雄と進駐官養成高校の決闘/石田衣良
- ★マナーの正体/逢坂剛
- ★一九四四年の大震災/西村京太郎
- ★蛮政の秋/堂場瞬一
- ★お伊勢まいり/平岩弓枝
- ★優しい言葉/群ようこ

その他

- ★高校生のための東大授業ライブ/東京大学教養学部編
- ★LGBTQを知っていますか?/日高庸晴

★商都大阪をつくった男五代友厚/宮本又郎

- ★並行読書の授業プラン/植松雅美
- ★女性と子どもの貧困/樋田敦子
- ★ニュートリノってナンダ?/荒船良孝
- ★家庭大工マニュアル/西沢正和
- ★キャラクターのちぎりパンレシピ/umi
- ★カーテンコール/川島なお美

児童書・絵本

- ★子どもの哲学/河野哲也
- ★和算って、なあに?/小寺裕
- ★おばけのアッチ パン・パン・パンケーキ/角野栄子
- ★ゆうかな猫ミランダ/エレナー エスティス
- ★小泉八雲/筑摩書房編集部